

みずほCustomer Desk Report 2025/10/22 号(As of 2025/10/21)

【昨日の市況概要】

				公示仲値	150.55
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	150.83	1.1644	175.45	1.3404	0.6516
SYD-NY High	152.18	1.1656	176.59	1.3415	0.6525
SYD-NY Low	150.47	1.1598	175.39	1.3362	0.6473
NY 5:00 PM	151.94	1.1600	176.19	1.3374	0.6489
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	46,924.74	218.16	日本2年債	0.9300%	▲0.0100%
NASDAQ	22,953.67	▲ 36.87	日本10年債	1.6500%	▲0.0200%
S&P	6,735.35	0.22	米国2年債	3.4541%	▲0.0032%
日経平均	49,316.06	130.56	米国5年債	3.5612%	▲0.0122%
TOPIX	3,249.50	1.05	米国10年債	3.9618%	▲0.0192%
シカゴ日経先物	49,450.00	▲ 325.00	独10年債	2.5508%	▲0.0330%
ロンドンFT	9,426.99	23.42	英10年債	4.4785%	▲0.0315%
DAX	24,330.03	71.23	豪10年債	4.1260%	▲0.0330%
ハンセン指数	26,027.55	168.72	USDJPY 1M Vol	9.15%	0.21%
上海総合	3,916.33	52.44	USDJPY 3M Vol	9.12%	0.10%
NY金	4,109.10	▲ 250.30	USDJPY 6M Vol	9.30%	0.08%
WTI	57.24	0.22	USDJPY 1M 25RR	▲0.61%	Yen Call Over
CRB指数	295.41	▲ 1.08	EURJPY 3M Vol	7.81%	0.18%
ドルインデックス	98.93	0.35	EURJPY 6M Vol	8.20%	0.04%

東京	東京時間のドル円は150.83レベルでオープン。オープン直後は片山さつき氏の財務相指名報道を受けて積極財政期待の剥落からやや円が買われたが、その後は午後1時から予定されていた首班指名選挙を控え上昇。一回目の投票で高市氏が過半数を獲得し首相に指名されたことを受けて円が売られてドル円は上昇。結局151.58レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.58レベルでオープン。高市首相就任を受けて、クロス円の上昇を伴って152.05まで上昇し、そのまま151.91レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円はオープン直後に米金利の低下に伴い151.46まで下落する場面もあったが、その後は米株の堅調な展開等を受け151.90付近まで反発する。午後は新規材料が見当たらない中、151.90付近を挟んだ狭いレンジ推移が続き、151.94レベルでクローズ。一方、ユーロは独長期金利の低下が重しとなり、1.1598まで下落する軟調な推移。午後は下げ渋り、1.1620付近まで戻す。しかし、終盤にかけては再度失速し、1.1600レベルでクローズ。

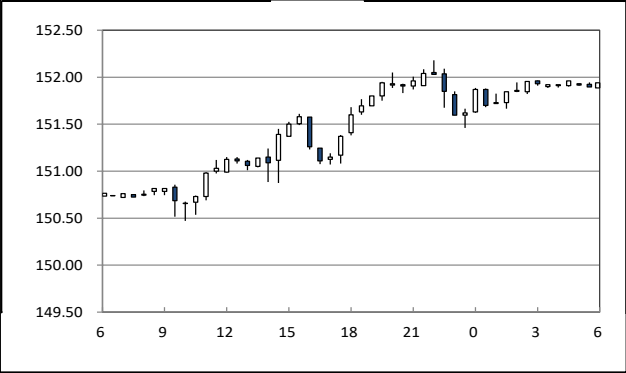
【昨日の指標等】

Date	Time	加	Event	結果	予想
10月21日	21:30		CPI(前年比)	9月 2.4%	2.2%

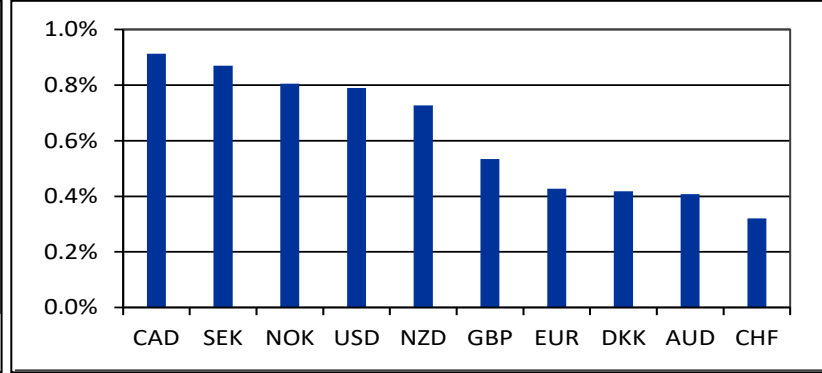
【本日の予定】

Date	Time	英	Event	予想	前回
10月22日	15:00		CPI(前月比/前年比)	9月 0.1%/4.0%	0.3%/3.8%
	15:00		CPIコア(前年比)	9月 3.7%	3.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.00-152.50	1.1550-1.1670	175.30-176.50

【マーケット・インプレッション】

初の女性首相の誕生が決定した。しかし、ドル円はいわゆる「高市トレード」により151円台を推移していたこともあり、特段値幅を広げることにはなかったものの、ニューヨーク時間の引けでは151円台後半をマーク。日経平均は初の5万円突破を狙える位置をキープしている。あらゆるショートポジションは、スクラップアンドビルドを繰り返しながら資産価格を押し上げているのではなかろうか。今後は高市政権運営と「高市トレードプレミアム」の答え合わせをしていく時間となろう。米国に関しては決算期ということもあるうえ、季節的にも12月のメジャーSQまでは、地政学的リスクが顕現しない限り、リスクオンが継続するとみていることから、ドル円は底堅い展開を予想する。ただし、月末の日米の金融政策に動きがあった場合(日銀の利上げ、米国の利下げ)、ドル円は一時的に水準を下げる展開もあるだろうことから、そのタイミングを狙って輸入勢によるフローが発生することを期待したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。